

令和7年度 第2回 松本市史 平成・令和版 編集委員会 会議録

日 時 令和8年3月6日(金) 午前10時～11時15分  
場 所 松本市文書館 講義室  
出席者 ・編集委員 遠藤正教委員、一ノ瀬幸治委員、渡辺宏委員、木曾寿紀委員、窪田雅之委員（欠席）柏澤由紀一委員、直井雅尚委員  
・事務局 長岡大介行政管理課長、石川善啓文書館長、木曾寿紀専門員（兼委員）

1 開会

2 あいさつ（長岡課長）

3 協議事項（議長 窪田委員長）

ア 第1回編集委員会の質問に対する事務局方針について

（議長）

事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）

（資料をもとに説明、以下ことわりの無い限り、事務局答弁は木曾専門員）

（議長）

事務局の方で前回各委員から質問、意見出たものを9項目にまとめた。内容、新たなことでもご意見等あれば、いかが。デジタルのところでC委員、いかが。

（C委員）

デジタル書籍について、事務局から販売の可否と活用できるような形でのデジタル化について、説明があったので了とする。

（議長）

関連した事、また別の項目の事でも良い。B委員、いかが。

（B委員）

今後の検討とか調査については、私も考えたい。最後の9番目の回答の中ですごく面白いことが取り上げられている。飲食店が消えるとか、駅アナウンスが切り替わったなどの時事ネタ的なところを、今後取り扱うときに、即時的な対応をどうするのか。駅前の老舗飲食店が閉店するというニュースが最近流れてきたが、この話を聞くことが必要になった場合、事務局なり委員なりの対応をどうするか気になる。

（議長）

事務局回答の9番に関連して、事務局の方で何かあれば。

（事務局）

突発的なことは当然例示したものに限らず、起き得る。対応方法を現時点で具体的には提示できないが基本的には事務局の方で目を光らせて、各委員にもケースバイケースでお願いする対応をしたい。基本的には事務局の方で先行し、各委員と連携を図りながら対応していきたい。

（B委員）

状況によってすぐに対応できるかわからないので、事務局で調整をお願いしたい。

（議長）

資料収集も含め柔軟に対応して欲しい。他に、いかが。

(D委員)

コラムの位置づけ、イメージについて。例えば「松本市 教育」というような総論的なものは基本的になく、その代わりになれば良い。事例を中心にエッセイ的に書いていけば面白いと思った。コラム案も、120人も市民に書いてもらうとなれば、しっかり趣旨を説明しないとイケない。僕らで書くと思ったが、違うようなのでコラムの位置づけについて聞きたい。

(議長)

コラムは120人をお願いするか決まっていないが、前回コラムが少ないのではという意見もあり、少しページを増やすことになった。事務局、いかが。

(事務局)

コラムで扱うのであれば、取りこぼしてしまうような部分、その生の声、残りづらい部分をこそ、取り上げて記録するのがコラムと考えている。位置づけ、方針をしっかりとっておかないとアクセントに入れたその良さが出てこないの、改めて位置づけを明確にしたい。

(D委員)

総論的な概略がない代替なので、これをフォローする必要がある。コラムは位置づけをはっきりさせて、総論でしっかり書いた方が良い。

(議長)

アクセントをつけるという意味でコラムを本文中に入れ、その本文が生きるためのコラムという位置づけが良い。コラムの位置づけを再度明確にして欲しい。

(D委員)

確認したら違うページに新しい構成で総論が組み込まれているので、問題はない。

(議長)

この構成も決めつつ、一旦いま事務局の方で取りあげた線に沿って考えたい。

## イ 原稿の基本的な表記について

(議長)

次の「イ 原稿の基本的な表記について」お願いをしたい。

(事務局)

(以下、資料をもとに説明)

(議長)

いま、原稿の基本的な表記は、利点等を含め、縦書きでいきたいと事務局から説明があった、いかが。

(D委員)

結構だが、コラムとかアクセントつけるところは横書きにしたり、テクニックもある。その辺も考慮していただければ良い。

(議長)

D委員から、コラム等々、横書きのアクセントもまたうまく組み合わせていけばいいのではという意見があった。その他の委員、いかが。

(B委員)

縦書きで良い。松本市的にも縦横どちらでもいいのか。

(事務局)

問題ない。

(C委員)

縦書きは、漢字の視認性も高いという話もあった。読みやすさは、そういう点であるので良いと思う。

(議長)

基本的に縦書きということで各委員から良いという意見である。見本をいくつか委員に配ってもらっている。体裁はまだ決まっていないが、縦書きで写真や図表をはめ込んでいくことになると思う。今回は縦書きの平成版の松本市史に則り縦書きとしたいとのことだが、異論はない。事務局の方で補足の説明があれば。

(事務局)

アクセントをつけるというところでは横書きの部分を併用しながらうまく使い分けていく。自治体誌で言うと自然史編や旧村誌もそうだが、記号や数値などを多用する場合には、横書きが合理的であるといわれている。漢字の方の視認性が高いというようなことで、見やすさ重視と内容の性質との兼ね合いから、説明したとおり今回は縦書きとする。

(D委員)

縦書きの場合、私自身が、本を実際作っていて、アルファベット表記に困る。一方でそれをカタカナにしてしまう力技があったりするので問題ない。

(事務局)

はめ込み方によって、縦横どうするのか困る箇所も出てくる。各委員の意見も入れつつ全体の様子を見て、統一性を持って進めていく。

(議長)

欠席のA委員から送られてきた資料を配付してある。縦書きは結構だが、数字、特に年代、何人、何%というものが入る。数字の表記について、事務局で説明があればお願いしたい。

(事務局)

アラビア数字を縦書きにはめ込むタイプ、ベーシックな形での漢数字を入れ込む2タイプある。先ほど表記方法の工夫の話があった。委員側から、そのあたり表記の傾向をお示しいただきたい。

(議長)

A委員は山形村史談会報を示してくれた。A委員はアラビア数字ではどうか、という意見である。数字の表記の方向性も今日決めたい。各委員、意見等あればお願いしたい。資料3はB委員が関わり、アラビア数字になっている。

(B委員)

博物館の図録の書き方は、議長が博物館に在職していた時のやり方でもある。漢字とか文字がたくさん並んでいる中でアラビア数字の方が数字を認識しやすい。漢数字で並んでいると、アラビア数字の方が認識しやすいのでこちらを使っていた。3桁4桁の数字を縦に並べると間延びするが、見え方が問題なければ、アラビア数字の方が伝わりやすい。

(議長)

新聞もアラビア数字を使うようになり、日常的には縦書きでアラビア数字に慣れてきた。D委員、いかが。

(D委員)

統一感があればアラビア数字で良い。例えば本町「一」丁目。「いち」を漢数字、アラビア数字いずれかで統一してくれれば問題はない。桁の問題、新聞など4桁以上は「いちまん」は、「万」でつけている。フォローするので編集部で留意されたい。

(議長)

どちらかに統一する必要がある。C委員、いかが。

(C委員)

漢数字だと自分が目的としたものがわかりづらく、間延びしてしまう。目的を持って読むときには、アラビア数字が見やすいのではないか。

(議長)

A委員からは事前に意見を出してもらった。E委員は確認をしてないが、いま各委員の意見は、表記方法を統一してあれば、支障はないというのが総意と思う。先ほどD委員が発言した本町「一」丁目。私の感覚では、「いち」は漢数字だろうと思う。例えば松本にはないが二番町、三番町も同じと思う。アラビア数字でいいじゃないかという総意であるが事務局、いかが。

(事務局)

主眼としてるのは見やすさと読みやすさ。アラビア数字に関するご意見は理に合っている。アラビア数字の方で、表記の統一は先ほどの指摘のとおり、しっかり揃えた上で、それから一丁目、二丁目の考え方も踏まえ、アラビア数字を採用したい。

(議長)

縦書きで数字の表記をアラビア数字でいく。用字用語の仕様については改めて前例踏襲の部分はあるが事務局の方で作成をして、漢字を使う場合、ひらがなにする場合などあるが、表記ルールを決めて欲しい。次回3回目の委員会では、表記方法についてきちんとしたものを作成して、配付をお願いしたいが、いかが。

(事務局)

3回目の会議時に事務局の方でもう一度提案したい。

## ウ 構成について

(議長)

続いてウの構成についてお願いしたい。

(事務局)

(以下、資料をもとに説明)

(議長)

新たに構成案として示したものが本日配付のもので、概括的な説明があった。本格的な検討は、第3回編集委員会をお願いをしたい。その前提で意見、質問があればお願いをしたい。市制120周年記念で刊行するので、行政の歩みもある程度記録をしておきたい。読んで面白いかな否かは別で、松本市として現在の行政の姿や将来に向かって、行政が何を考えているかということは明記しておかないと、松本市が出す市史にはならない。そういう意味も含めてご意見いただければ、いかが。

(D委員)

年表は書くのか。

(事務局)

まだ叩き台の構成案なので、決定ではないが既刊の自治体史を見ると、後半の方には体系的に年表が書いてあり、年表調のものがあると、索引的に使う時に重宝する。年表の扱いをどうするか、次回提示したい。

(D委員)

3の「松本市のいま」は平成元年からの市長の実績ごとまとめていくのか。なにか子ども、若者、教育みたいな総論的にまとめていくのか。または両方やるのか。

(議長)

内容は、次回の検討事項としたい。例えば市長ごとに記述するのか、それとも横軸通して、項目ごとに市政の変遷をまとめていくのか、まだ決まっていないが、いかが。

(事務局)

軸にしているのは読みやすさ。例えばこの表の示し方ひとつでも表記上の示し方として、より良い示し方があるかもしれない。既刊のものと比較し検討したい。

(D委員)

市長ごとだと、あまりに「御上」的な感じがするのでやめていただきたい。そういうことは人物の項で書いてくれればいい。総論は総論としてちゃんとまとめて欲しい。

(議長)

そのあたり事務局の方で参考にして構成をお願いしたい。平成期版の松本市史も、市長ごと誰々市政の〇〇といった項目も確かにある。それとD委員に聞きたいが、その「年表」はどのぐらいの範囲までか。

(D委員)

平成元年から令和、基本的には本文に関わる年表がついて索引的な年表だが、これだと平成・令和の年表ということである。

(議長)

まだ決まってない基本的なところは平成・令和ということで、年表を作れば良いということか。

(事務局)

D委員の発言のようなイメージで概ね考えている。

(議長)

他に、いかが。

(B委員)

年表の話とも少し重複するが、構成の1章「松本の歩みとすがた」で明治40年から現在まで1年ごと扱っている。使い方によってはこれが年表みたいになるのではないかと。令和9年まで1章で扱うとなったとき、また3章で平成元年から令和9年まで改めて1年テーマごとにやるので、1と3も若干重複してくるかもしれない。年表も作るとしたら1と年表の重複みたいなのところも出てくるかもしれない。次回の会議で、それぞれの章の構成をもう少し具体化していったときに年表の要不要もまたそれ次第で変わってくる。各章の性格、すみ分け等も次回までに考えていければ良い。

(議長)

年表にも関連して性質上、当然最低限の重複はある。B委員の発言もあったが、「松本の歩みとすがた」ということで令和9年から明治40年の120年ぐらいの項目が入るとすれば、それは文字面と共に年表も入る。今日は一旦案で示してもらい、次回の委員会に、もう一度順列組み合わせも含めて決めていきたい。そうするとB委員の

心配したことも少なくなる。事務局、いかが。

(事務局)

次回までに研究しておきたい。

(議長)

C委員、いかが。

(C委員)

構成はまだ具体的なところではないと思うが、コラムとかグラフとか本文の挿入を含むと書いてある。1ページで入れる場合と、2ページで入れる場合を想定しているのか。1ページで入れると、多分組み方がおかしくなってしまうと思う。基本的なことだが、入れるのであれば、2ページずつ入れるのか。

(議長)

事務局、いかが。

(事務局)

その辺り事務局の方で固まっていないので、しっかり固めた上で示したい。

(議長)

書式や体裁等も決める中で、図版の大きさ、統計の示し方等にも関わってくる。仕様をどうするのかということも考えられるので、事務局の方で練ってもらいたい。そのほかに、いかが。

(D委員)

楽しく読ませるために何が必要か。例えば松本市平成・令和版の総論がある。そこでちょっとしたエピソードを差し込む。子ども、若者、教育に絡めて三九郎とか。35地区の概要、その地区に住む人の証言を1人取り上げるなど、地区の変遷と絡むように証言を載せるとアクセントもついて、すごく楽しくなるページ構成になると思う。

(議長)

私の経験から言うと、作ることに汲々としていて、どう読んでもらうかまで考える余裕がなかった事が多い。

(D委員)

ページ調整でもいいが、余ったところに差し込む感じでいいと思う。

(議長)

コラムの総ページ、これも概算で40ページとある。おそらく35地区のところにもそういうものを入れ込んでいきたいと事務局は考えているのではと思う。D委員が言ったフィットするような形で散りばめて、ページをめくってみたら発見があると、より読みやすいし親しみやすい。D委員は出版の、ノウハウがあると思うが、いかが。

(D委員)

偉い人だけ扱うのではなく、普通の市民をどんどん名前入りで載せていきたい。名前も載せるといろいろ問題はあがる。

(議長)

その方が親しみが湧くのではないか。それも追々きちんと決めていかなければならない。事務局の方で総括的なところ何かあれば。

(事務局)

宿題とするところが多かったかと思う。次回までに事務局の方で詰めさせていただく。

(2) 報告事項

ア 地域づくりセンター(地区公民館)への協力依頼について

(議長)

次に、(2)の報告事項、地域づくりセンターへの協力依頼について、事務局説明をお願いしたい。

(事務局)

(以下、口頭で説明)

(議長)

委員が調査に入ったりする場合、今の構成の中では35地区、いろいろなところがある。全体で動くか個々で動くかは別として核になる地域づくりセンターにはお願いをしておきたいということだ。地域づくりセンターだけでなく各部各課も含め地域づくりセンター中心に協力依頼、周知をお願いして欲しいが、いかが。

(事務局)

そのラインで考えている。各地域づくりセンターへは年度当初を目途に周知をおこなう。本文の構成等が決定し次第、速やかに事務局の方で動きたい。もう一つは調査先次第では委員が事務局から個別に調査の依頼を出してもらいたい場面も当然あると思う。事務局にまた各委員から適宜依頼いただければと思う。個別に事務局の方に、相談いただきたい。そこに関して今後、身分証のようなものを各委員が携示した上で調査がスムーズに行えるようにしたい。

(3) その他

(議長)

事務局の方で年度が明けたら、速やかにお願いをしたい。報告事項は以上なので(3)その他なにかあれば、いかが

(事務局、石川館長)

前は身分証明書を委員が携帯したが、今回は身分証明書ではなく名刺などで対応したいが、いかが。

(議長)

私は、平成の松本市史のとき、市史編集委員を委嘱され、その時の身分証明書が手もとにある。市長印が捺してあり、民俗部門であったためよく聞き取りに行き、身分証明書を出したことがあったので、事務局に相談した。事務局の方で身分証明書ではなく名刺を作成するなど方向性を出してもらった、いかが。

(B委員)

行事調査など不特定多数の人がいる場所に調査に入るとき、いちいち名刺で挨拶するのはどうか。腕章とか、首掛けとか、パッと見て変な人ではないということを確認できるようなものがあると便利かと思う。自分で用意し、首掛けの名札に名刺を入れればいいのかもわからないが、そういうものが欲しい場面もあるのではないかと。

(議長)

事務局、いかが。

(事務局、石川館長)

調査もあると思うので検討し、できるだけ腕章などで対応できるようにしたい。

(議長)

今回は表記について、基本的に縦書きでいくことも決めた。今月下旬に第3回編集委員会がある。第3回の委員会にあたり事務局で提示して欲しいことがある。一つは構成内容。年度内でほぼ固められたら来年度にうまく繋げられる。内容についてはもう少し細かく、今日出た意見も参考にして作成をしてほしい。身分証明書ではなく首掛けまたは腕章にするのか。それも次回までに事務局の方から方向性を出して欲しい。新年度から調査活動など本格的になるので、お願いしたい。事務局、いかが。

(事務局)

委員から、多くの意見をいただいた。次回に構成もかなり固めるというところまで進めたい。それまでに各委員に要検討事項を示したい。

(議長)

表記を含めた執筆要項、本文の体裁、見出し含めて事務局で決められないと思う。A案B案作って示してもらえると一番良い。

(議長)

一旦協議事項報告終わったが、その他各委員の方、いかが。

(B委員)

執筆分担は年度変わってまた決めていくと思う。委員の構成だと時代ごとに担当が分かっている。この構成を見るに時代別、地区別、またテーマ別の執筆になるので、一見して現代の執筆担当が大変だと思う。そのあたりも具体的に示されればと思う。

(議長)

事務局、いかが。

(事務局)

構成が決まり次第、分野によって負担のかかり方が極端に偏らないような構成・分担をしっかりと決めた上で委員の意見をうかがいたい。

(議長)

B委員から発言のとおり調整が必要となる。市制施行の明治40年以前についても、松本のあゆみやあらましの中でふれることになる。35地区の場合、地区によって違うが、遺跡などの記述も古代・中世を担当する委員にお願いすることも考えられるが、横軸を通すのか、縦割りでいくのかも含めて構成を決めなくてはならない。事務局でお願いしたい。

(D委員)

先ほど、コラムでエピソードを入れた方が良いと言ったのは余白があった方が、本は絶対面白くなるので、これは別にまた考えてほしい。

(議長)

体裁上の問題も含めて本を開いたときに、黒一色っていうのは、非常に読みづらい。工夫がないといけないと思う。そのアクセントも含め、全体通して考えていかなければならない。意見は出尽くしたと思うので、今日はこのあたりとしたい。

(各委員)

異議なし。

(議長)

進行を事務局に返す。

## 7 閉 会